

服用方法の啓発活動

福光店 H23.7

[目的]

保護者に服薬方法を徹底する事により、アドヒアランスの向上を目指す。

[方法]

調査期間：2010年11月～12月

対象者：福光店に来局した保育園、幼稚園、小学校に通園している幼児、児童の保護者約100名を対象にアンケート用紙を用いて調査した。

調査内容：

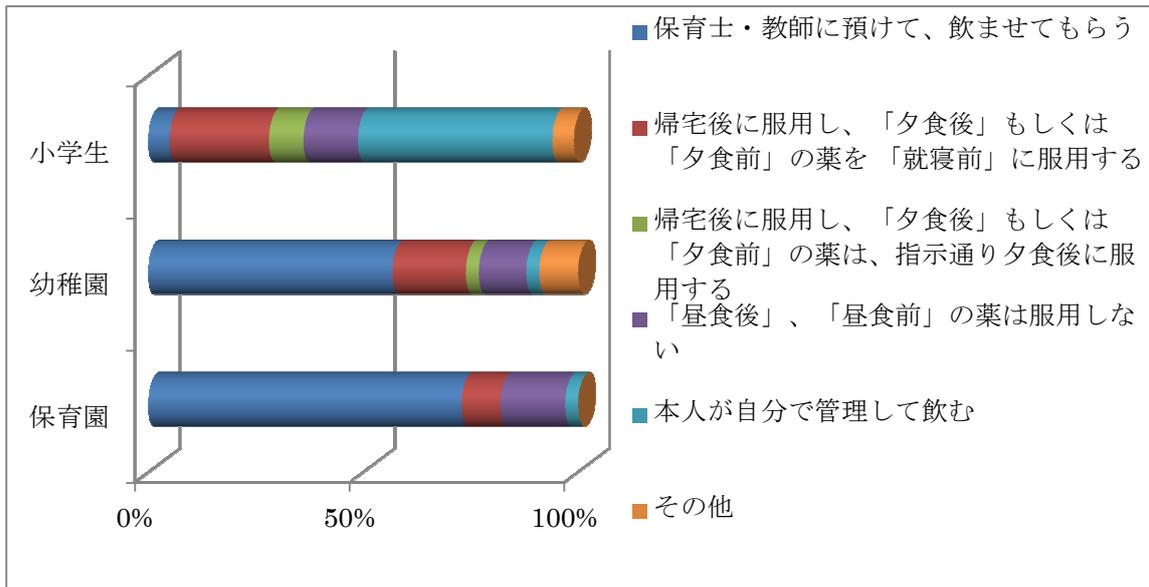
- I) 保育園・幼稚園・小学校に行く日に「毎食後」「毎食前」服用のお薬が出ている場合、「昼食後」もしくは「昼食前」のお薬はどのようにしていますか？
- II) 保育園・幼稚園・小学校に行く日に「毎食後」「毎食前」服用のお薬が出ている場合、「昼食後」もしくは、「昼食前」のお薬についてどなたかに相談した事がございますか？
- III) 「毎食後」もしくは「毎食前」の薬は、4～5時間の間隔を空けて服用すれば、必ずしも食後、食前に拘らず、服用しても良い事をご存知ですか？(特に医師の指示がない場合に限り)
- IV) 1日の薬の服用回数が少ないほうが良いと思いますか？

[結果]

I) 「昼食後」「昼食前」服用の薬について、保育園児の73%、幼稚園児の57%が保育士さんに預けて飲ませてもらっている。また、小学生の45%は児童自身が管理をして服用している。しかし、「昼食後」「昼食前」の薬を服用しない保育園児は15%、幼稚園児11%、小学生は13%であった(表1)。

(表1) 「昼食後」「昼食前」のお薬はどのようにしているか

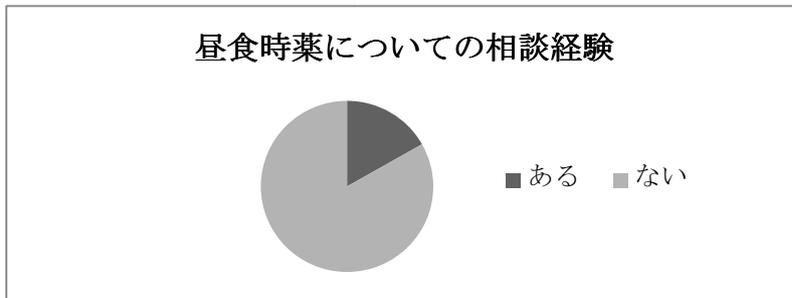
	保育園		幼稚園		小学生	
保育士・教師に預けて、飲ませてもらう	24人	73%	20人	57%	2人	5%
帰宅後に服用し、「夕食後」もしくは「夕食前」の薬を「就寝前」に服用する	3人	9%	6人	17%	9人	23%
帰宅後に服用し、「夕食後」もしくは「夕食前」の薬は、指示通り夕食後に服用する	0人	0%	1人	3%	3人	8%
「昼食後」「昼食前」の薬は服用しない	5人	15%	4人	11%	5人	13%
本人が自分で管理して飲む	1人	3%	1人	3%	17人	45%
その他	0人	0%	3人	9%	2人	5%



Ⅱ) 「昼直後」「昼食前」のお薬について、誰にも相談したことがない保護者は7割以上であった(表 2-1)。また、相談相手は薬剤師、医師、保育士であった(表 2-2)。

(表 2-1) 「昼食後」「昼食前」のお薬について、誰かに相談した事があるか

	保育園		幼稚園		小学生	
ある	4人	13%	8人	23%	5人	14%
ない	27人	87%	27人	77%	30人	86%



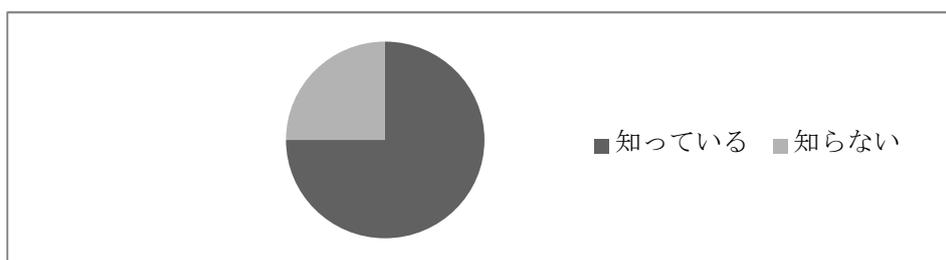
(表 2-2) 「昼食後」「昼食前」のお薬について、誰に相談したか

	保育園	幼稚園	小学生
医師	1人	1人	0人
薬剤師	1人	6人	4人
看護師	0人	0人	0人
保育士	2人	1人	0人
その他	0人	0人	0人

Ⅲ)小児の薬の多くは「食後」「食前」拘らなくてもよいことを知らない保護者が 25%いる(表 3-1)。また、そのことを薬剤師、医師、看護師から聞いた人が多かった(表 3-2)。

(表 3-1)必ずしも食後、食前に拘らなくてもよいことを知っているか

	保育園		幼稚園		小学生	
知っている	21人	68%	25人	71%	29人	83%
知らない	10人	32%	9人	29%	6人	17%



(表 3-2)必ずしも食後、食前に拘らなくてもよいことを誰に聞きましたか

	保育園	幼稚園	小学生
医師から聞いた	10人	2人	9人
薬剤師から聞いた	9人	15人	15人
看護師から聞いた	2人	4人	4人
保育士から聞いた	0人	0人	1人
その他	0人	1人	1人

Ⅳ)1日の服用回数について、少ないほうがよいと思う保護者は6割程度であった。(表 4)

(表 4)1日の服用回数は少ないほうがよいと思うか

	保育園		幼稚園		小学生	
少ないほうがよい	18人	58%	19人	56%	22人	63%
どちらでもよい	12人	39%	15人	44%	13人	37%
多いほうがよい	1人	3%	0人	0%	0人	0%

[考察]

昼食時の服薬は徹底されていなかった。窓口での服薬指導だけでは、全ての理解を得ることは難しい。詳しい服用方法を記載したシールを作成し、お薬手帳に貼ることで、これらを補う必要があると考えた。

① 保育園・幼稚園・学校で、昼の薬が飲めない場合は？

(1日3回の場合) 1回目：朝起きた時

2回目：園や学校から帰宅時

3回目：就寝時

(服用のタイミング) 食後は、お腹いっぱいだと薬が飲み辛い為、
4、5時間あければ食前、食後にこだわらなくても大丈夫です。

② 抗生剤はきちんと飲み切りましょう

抗生剤(抗生物質)とは、細菌を殺し増殖を防いで感染症を
治療する薬のことです。完全に菌が無くなるまで薬を飲まない
と、病気が再発することがあります。途中で中止すると、
耐性菌や菌の抵抗力に問題がありますので、
指示された通りに飲みましょう。

③ 解熱鎮痛剤は6時間以上あけて

発熱は、病原体の働きを鈍くし、増殖を抑える防御反応の一つ
です。高熱であっても、解熱剤はむやみに使用せず、
ぐったりした状態や、いつもと違う場合に使いましょう。

38.5℃前後を目安とし6時間以上間隔を空けて下さい。

また、体重によって使用量が異なる為、残った薬を使用する際は
薬剤師に相談して下さい。